

世界水準の「ナショナルパーク」を実現し、国立公園の保護と利用の好循環により、地域活性化を図ります。

1. 事業目的

- ① 日本の国立公園のブランドイメージを確立し、インバウンドの誘客を促進することで地域活性化につなげる
- ② インバウンド対策を通じ、外国人とともに日本人も国立公園の魅力を満喫できるようにする
- ③ 利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし消費単価や満足度の向上するための施策を実施し、地域に経済効果をもたらし、一層の自然環境の保全への再投資を促進

2. 事業内容

平成28年3月に政府（議長：内閣総理大臣）がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」の柱の一つとして国立公園が位置づけられ、**2020年は国立公園訪日外国人利用者数を年間1000万人**とする目標年となっている。**2018年の訪日外国人利用者は約694万人**、満足度は向上したものの、国立公園内の旅行消費額は前年と同程度となり、**利用者数の更なる増加と受入環境整備を一層強化する必要**がある。受入環境をハード・ソフト共に磨き上げ、誘客力強化するため以下の取組を実施

- ・ **基盤的な利用施設の整備**：登山道の再整備、ビジターセンターの充実、キャンプ場リニューアル等
- ・ **公園施設の長寿命化対策**：木道やトイレの改修等による長寿命化
- ・ **地域における誘客力強化／海外への情報発信**：
ツアーコンテンツ等の造成・磨き上げの強化、各国立公園と多様な主体とのマッチング機会造成、人材育成、旅行博等への出展
- ・ **地域協議会による多様な主体と連携した施策の実施**：
ステップアッププログラムの推進、利用者負担の仕組みづくり等
- ・ **宿舍施設の省CO2改修支援等**

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業／交付金
- 請負先 民間事業者・団体／都道府県・市町村
- 実施期間 平成28年度～

4. 事業イメージ



- ・ ビジターセンターや展望台、歩道等の利用施設を整備・リニューアルし、美しい景観や自然を満喫できる基盤を充実
- ・ 公共施設へのカフェ等民間ノウハウの導入によるサービス向上



- ・ ツアーコンテンツ等の充実・連携推進・人材育成による受け入れ体制の底上げ
- ・ 旅行博出展、旅行業等の多様な主体との連携による誘客キャンペーンの実施



- ・ 地域協議会等の多様な主体との連携により、プロジェクトの取組を推進